

◆ 灰星病 ◆

本病による被害は開花期前後と収穫期間近になった頃に多湿条件が続くと発病が多くなる。開花期前後は花腐れ防除のためにオーソサイド水和剤80 800倍または下記の表の薬剤より選択して防除する。なお、例年、炭疽病の発生が見られる園ではオーソサイド水和剤80を使用する。また、収穫期近くなり、雨よけ被覆をする直前頃には下記表中の薬剤から選択して防除するが、収穫果実に薬斑が目立たない薬剤を選ぶようにする。

灰星病防除剤の使い方

RAC コード	薬 剤 名	濃 度	使用上の注意事項
F:11,F:7	ナリアWDG	2,000倍	1. RACコードが同一の薬剤間では交差耐性菌出現リスクがあるので、連用や年間の複数回使用を慎むこと。
F:11	アミスター10フロアブル	1,000倍	
F:2	ロブラール水和剤	1,500倍	2.アミスター10フロアブルはリンゴの「あかね」「シナノレッド」等に薬害を生じるので、隣接園で使用する場合にはかからないように十分注意すること。
	ロブラール500アクア	1,500倍	
F:3	アンビルフロアブル	1,000倍	
	インダーフロアブル	5,000倍	
	オンリーワンフロアブル	2,000倍	
	サンリット水和剤	2,000倍	
F:M07	ベルコート水和剤	1,000倍	